



CATEYE Q3/Q3a MSC-CY200/300 Quick Start

ボタンをクリックして説明に従って
ください。

このたびは、マルチスポーツコンピュータ キャットアイ Q3/Q3a をご購入いただき、ありがとうございます。

このクイックスタートマニュアルには、リストウォッチのセットアップ、自転車への取付け、および心拍センサーの装着の説明が含まれています。手順に従って設定することで、マルチスポーツコンピュータとしてお使いいただく準備ができます。



- **ご使用になる前に製品に付属の取扱説明書を最後までよくお読みいただき、本器の機能を十分にご理解の上、安全に正しくご使用ください。**
- **ペースメーカーをご利用の方は、絶対に心拍センサーを使用しないでください。**

この PDF には、ムービーファイルが含まれています。
ムービー画面をクリックするとセキュリティに関するメッセージが表示されますが、「文章を信頼する」、または「再生」ボタンをクリックしてメッセージを閉じてください。
もう一度、画面をクリックするとムービーが再生されます。



CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

目次

ご覧になる項目をクリックしてください。

ボタン操作

リストウォッチのセットアップは主に次のボタン操作で行ないます。
セットアップを始める前にボタン位置をご確認ください。



リストウォッチ側面に **MENU** ボタン、**SSS** ボタン、**MODE1** ボタン、**MODE2** ボタンがあります。



CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

リストウォッチのセットアップ

セットアップの準備

リスタート操作

時刻表示の設定

時の設定

分の設定

日付表示の設定

年の設定

月の設定

日の設定

タイヤ設定

速度単位の設定

温度単位の設定

時計モード画面
(セットアップ完了)

セットアップの準備

絶縁シートをムービーの手順に従って取除きます。

絶縁シートを取除いた後は、電池、内部カバーを元通りに組付けて **AC ボタン** を押します。その後、バッテリーカバーをしっかりと締付けてください。

※ バッテリーカバーを締付ける前にリストウォッチの溝に **Oリング** が取付けられていることを確認してください。

バッテリーカバー

内部カバー

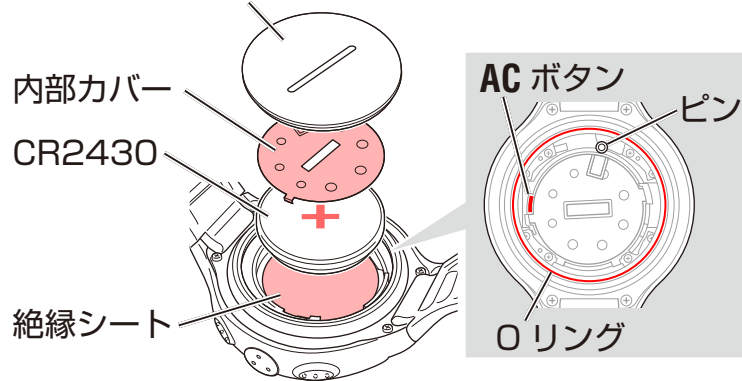
CR2430

絶縁シート

AC ボタン

ピン

Oリング





CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

リストウォッチのセットアップ

セットアップの準備

リスタート操作 (1/2)

時刻表示の設定

時の設定

分の設定

日付表示の設定

年の設定

月の設定

日の設定

タイヤ設定

速度単位の設定

温度単位の設定

時計モード画面
(セットアップ完了)



リスタート操作

リストウォッチ側面の MENU ボタン、SSS ボタン、MODE1 ボタン、MODE2 ボタンを同時に長押しします。画面表示が変わるまで、4つのボタンを押し続けてください。

画面の全点灯後、初期化確認画面に切替ります。

※「リスタート操作」から「日の設定」の間で3分間操作を中断するとリスタート操作が中止され、時計画面に変わります。この場合、もう一度4つのボタンを同時に押して、リスタート操作をやり直してください。



全点灯



初期化確認



CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

リストウォッチのセットアップ

セットアップの準備

リスタート操作 (2/2)

時刻表示の設定

時の設定

分の設定

日付表示の設定

年の設定

月の設定

日の設定

タイヤ設定

速度単位の設定

温度単位の設定

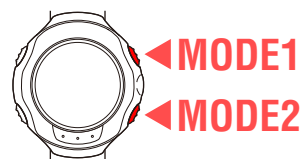
時計モード画面
(セットアップ完了)



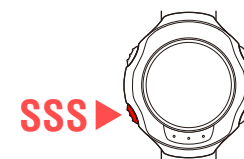
リスタート操作の確定

MODE1 ボタンまたは MODE2 ボタンを押すごとに、「YES」または「NO」に切替りますので「NO」を選択し、SSS ボタンを押して確定します。

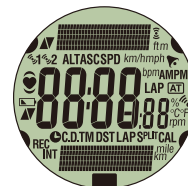
YES ↔ NO



確定



画面の全点灯後、ブザーが鳴って時刻表示設定画面に切替りセットアップが始まります。



全点灯



時刻表示設定



CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

リストウォッチのセットアップ

セットアップの準備

リスタート操作

時刻表示の設定

時の設定

分の設定

日付表示の設定

年の設定

月の設定

日の設定

タイヤ設定

速度単位の設定

温度単位の設定

時計モード画面
(セットアップ完了)



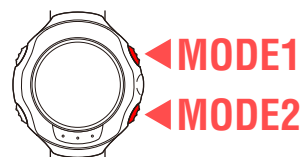
時刻表示

時刻表示の設定

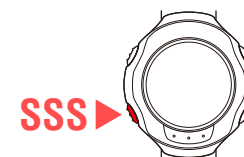
MODE1 ボタンまたは MODE2 ボタンを押すごとに、時刻の表示が「12h」または「24h」に切替りますので任意の表示を選択します。

選択後は、SSS ボタンを押して、次ステップ「時の設定」へ進みます。

24h ↔ 12h



次ステップへ





CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

リストウォッチのセットアップ

セットアップの準備

リスタート操作

時刻表示の設定

時の設定

分の設定

日付表示の設定

年の設定

月の設定

日の設定

タイヤ設定

速度単位の設定

温度単位の設定

時計モード画面
(セットアップ完了)



時

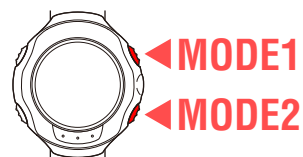
時の設定

MODE1 ボタンを押すと点滅する数値（時刻の「時」）が増加し、MODE2 ボタンを押すと減少しますので任意の数値を入力します。

※ MODE1 ボタンまたは MODE2 ボタンを長押しすると、数値を早送りできます。

入力後は、SSS ボタンを押して、次ステップ「分の設定」へ進みます。

数値増減



次ステップへ





CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

リストウォッチのセットアップ

セットアップの準備

リスタート操作

時刻表示の設定

時の設定

分の設定

日付表示の設定

年の設定

月の設定

日の設定

タイヤ設定

速度単位の設定

温度単位の設定

時計モード画面
(セットアップ完了)



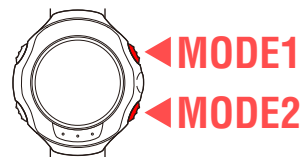
分

分の設定

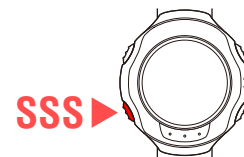
同様に **MODE1** ボタン、**MODE2** ボタンで点滅する数値（時刻の「分」）を入力します。

入力後は、**SSS** ボタンを押して、次ステップ「日付表示の設定」へ進みます。

数値増減



次ステップへ





CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

リストウォッチのセットアップ

セットアップの準備

リスタート操作

時刻表示の設定

時の設定

分の設定

日付表示の設定

年の設定

月の設定

日の設定

タイヤ設定

速度単位の設定

温度単位の設定

時計モード画面
(セットアップ完了)



日付表示

日付表示の設定

MODE1 ボタンまたは MODE2 ボタンを押すごとに、日付の表示が「YYMMDD (年月日)」、「MMDDYY (月日年)」、「DDMMYY (日月年)」に切替りますので任意の表示を選択します。

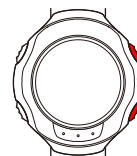
選択後は、SSS ボタンを押して、次ステップ「年の設定」へ進みます。

- ※ セットアップ時の日付設定は、必ず正しい値を入力してください。
- ※ 以降は「YYMMDD (年月日)」を選択した場合を例に説明します。

YYMMDD

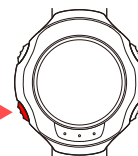
MMDDYY

DDMMYY



MODE1
MODE2

次ステップへ



SSS



CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

リストウォッチのセットアップ

セットアップの準備

リスタート操作

時刻表示の設定

時の設定

分の設定

日付表示の設定

年の設定

月の設定

日の設定

タイヤ設定

速度単位の設定

温度単位の設定

時計モード画面
(セットアップ完了)



年

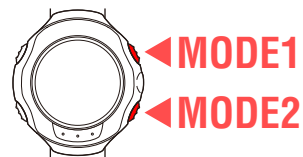
年の設定

MODE1 ボタンを押すと点滅する数値（日付の「年」）が増加し、MODE2 ボタンを押すと減少しますので任意の数値を入力します。

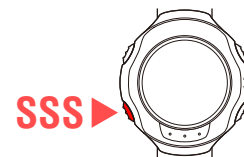
※ MODE1 ボタンまたは MODE2 ボタンを長押しすると、数値を早送りできます。

入力後は、SSS ボタンを押して、次ステップ「月の設定」へ進みます。

数値増減



次ステップへ





CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

リストウォッチのセットアップ

セットアップの準備

リスタート操作

時刻表示の設定

時の設定

分の設定

日付表示の設定

年の設定

月の設定

日の設定

タイヤ設定

速度単位の設定

温度単位の設定

時計モード画面
(セットアップ完了)



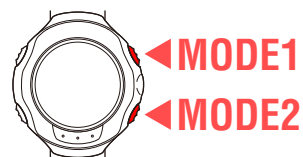
月

月の設定

同様に **MODE1** ボタン、**MODE2** ボタンで点滅する数値（日付の「月」）を入力します。

入力後は、**SSS** ボタンを押して、次ステップ「日の設定」へ進みます。

数値増減



次ステップへ





CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

リストウォッチのセットアップ

セットアップの準備

リスタート操作

時刻表示の設定

時の設定

分の設定

日付表示の設定

年の設定

月の設定

日の設定

タイヤ設定

速度単位の設定

温度単位の設定

時計モード画面
(セットアップ完了)



日

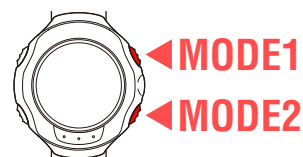
日の設定

同様に **MODE1** ボタン、**MODE2** ボタンで点滅する数値（日付の「日」）を入力します。

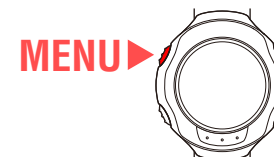
入力後は、**MENU** ボタンを押して時計モード画面に切替え、次ステップ「タイヤ設定」へ進みます。

※ 自転車のタイヤ周長が 2096 mm (700x23c)、計測単位を「km」、「 $^{\circ}\text{C}$ (摂氏) *Q3a のみ」で使用する場合は、以上でセットアップは完了です。変更する場合のみ次の手順へ進んでください。

数値増減



次ステップへ





CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

リストウォッチのセットアップ

セットアップの準備

リスタート操作

時刻表示の設定

時の設定

分の設定

日付表示の設定

年の設定

月の設定

日の設定

タイヤ設定 (1/4)

速度単位の設定

温度単位の設定

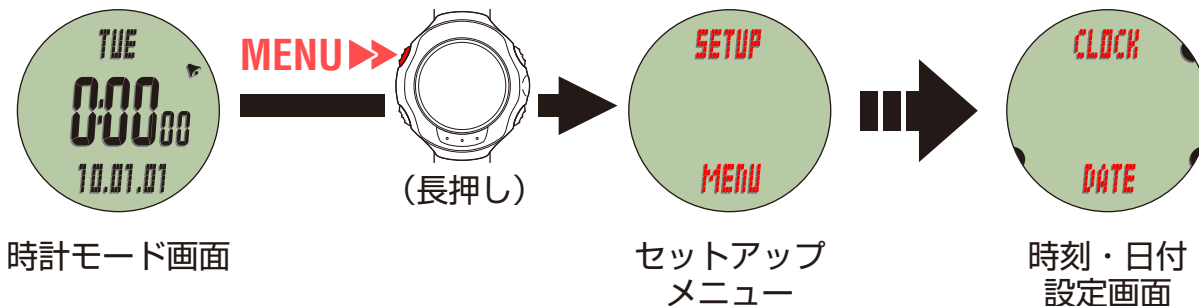
時計モード画面
(セットアップ完了)

タイヤ設定

MENU ボタンを長押ししてセットアップメニュー (SETUP MENU) を表示させて手を離すと、自動的に時計・日付設定画面 (CLOCK DATE) に切替ります。

※「タイヤ設定」以降は、3 分間操作を中断すると時計モードに戻ります。

設定中に時計モードに戻った場合や手順を誤った場合は MENU ボタンを長押しして、ここから設定をやり直してください。





CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

リストウォッチのセットアップ

セットアップの準備

リスタート操作

時刻表示の設定

時の設定

分の設定

日付表示の設定

年の設定

月の設定

日の設定

タイヤ設定 (2/4)

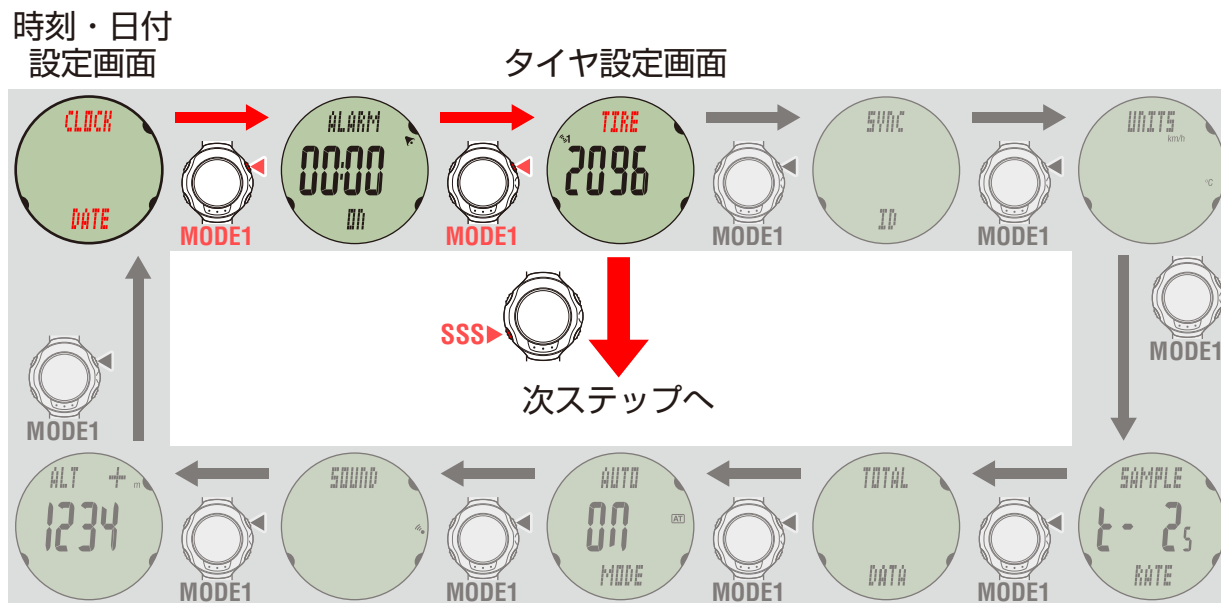
速度単位の設定

温度単位の設定

時計モード画面
(セットアップ完了)

タイヤ設定

MODE1 ボタンを 2 回押してタイヤ設定画面 (TIRE) に切替え、SSS ボタンを押して次ステップ「タイヤ設定 (3/4)」へ進みます。





CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

リストウォッチのセットアップ

セットアップの準備

リスタート操作

時刻表示の設定

時の設定

分の設定

日付表示の設定

年の設定

月の設定

日の設定

タイヤ設定 (3/4)

速度単位の設定


温度単位の設定

時計モード画面
(セットアップ完了)

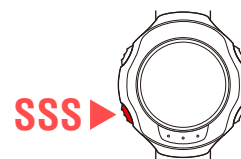


センサー ID1

タイヤ設定

タイヤ設定画面 (TIRE) に切替えると「1」と「S/ID:1」が点滅するので、SSS ボタンを押して、次ステップ「タイヤ設定 (4/4)」へ進みます。

次ステップへ





CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

リストウォッチのセットアップ

セットアップの準備

リスタート操作

時刻表示の設定

時の設定

分の設定

日付表示の設定

年の設定

月の設定

日の設定

タイヤ設定 (4/4)

速度単位の設定

温度単位の設定

時計モード画面
(セットアップ完了)



タイヤ周長入力

タイヤ設定

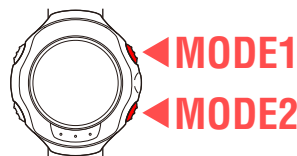
タイヤ周長ガイドを参考に、自転車のタイヤ外周の長さ (mm) を4桁で入力します。

MODE1 ボタンを押すと点滅する数値が増加し、MODE2 ボタンを押すと減少します。また、SSS ボタンを押すと2桁単位で桁を移動することができます。

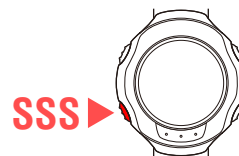
※ MODE1 ボタンまたは MODE2 ボタンを長押しすると、数値を早送りできます。

入力後は、MENU ボタンを押して、次ステップ「速度単位の設定」へ進みます。

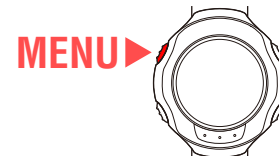
数値増減



桁移動



次ステップへ





CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

リストウォッチのセットアップ

セットアップの準備

リスタート操作

時刻表示の設定

時の設定

分の設定

日付表示の設定

年の設定

月の設定

日の設定

タイヤ設定

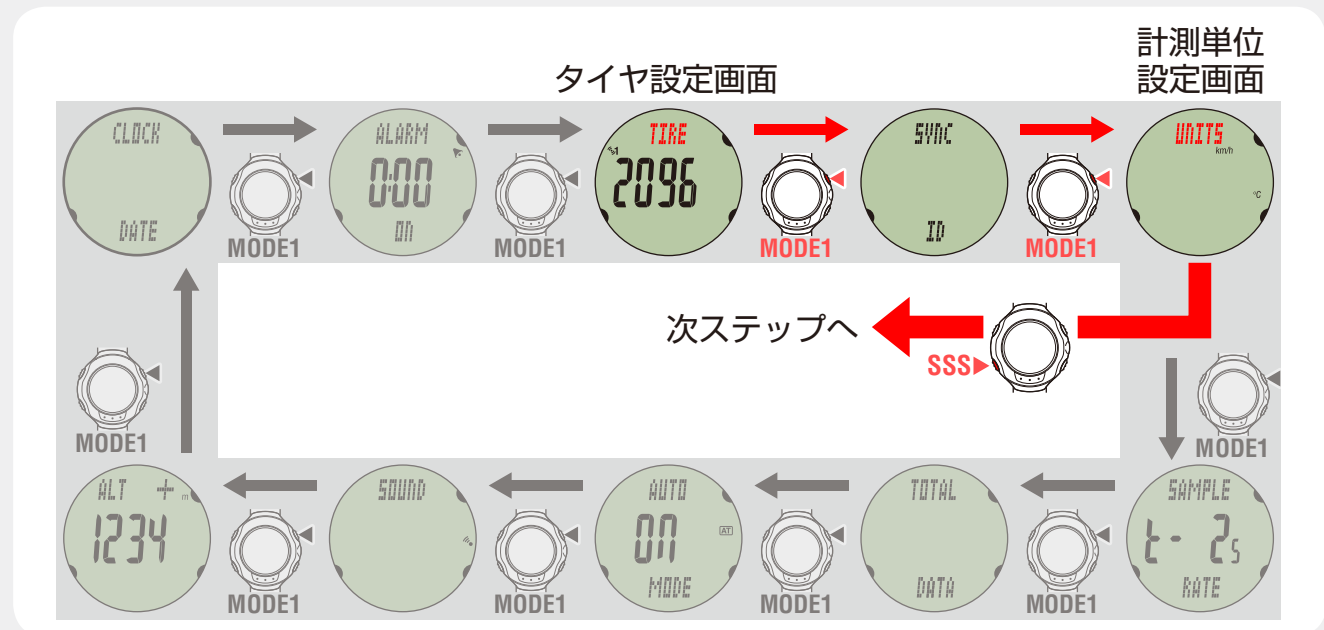
速度単位の設定 (1/3)

温度単位の設定

時計モード画面
(セットアップ完了)

計測単位の設定

MODE1 ボタンを 2 回押して計測単位設定画面 (UNITS) に切替え、SSS ボタンを押して、次ステップ「速度単位設定」へ進みます。





CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

リストウォッチのセットアップ

セットアップの準備

リスタート操作

時刻表示の設定

時の設定

分の設定

日付表示の設定

年の設定

月の設定

日の設定

タイヤ設定

速度単位の設定 (2/3)

温度単位の設定

時計モード画面
(セットアップ完了)

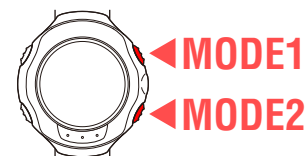


速度単位設定

速度単位の設定

MODE1 ボタンまたは MODE2 ボタンを押すごとに、速度単位の表示が「km/h」または「mph」に切替りますので任意の表示を選択します。

km/h ↔ mph





CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

リストウォッチのセットアップ

セットアップの準備

リスタート操作

時刻表示の設定

時の設定

分の設定

日付表示の設定

年の設定

月の設定

日の設定

タイヤ設定

速度単位の設定 (3/3)

温度単位の設定

時計モード画面
(セットアップ完了)

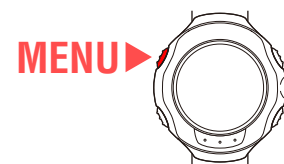


速度単位設定

速度単位の設定

選択後は、MENU ボタンを 2 回押して、時計モード画面に戻ります。

設定完了
時計モード画面へ



(2 度押し)



CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

リストウォッチのセットアップ

セットアップの準備

リスタート操作

時刻表示の設定

時の設定

分の設定

日付表示の設定

年の設定

月の設定

日の設定

タイヤ設定

速度単位の設定 (3/3)

温度単位の設定

時計モード画面
(セットアップ完了)

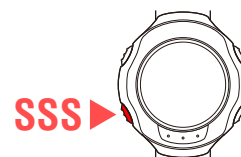


速度単位設定

速度単位の設定

選択後は、**SSS** ボタンを押して、次ステップ「温度単位の設定」へ進みます。

次ステップへ





CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

リストウォッチのセットアップ

セットアップの準備

リスタート操作

時刻表示の設定

時の設定

分の設定

日付表示の設定

年の設定

月の設定

日の設定

タイヤ設定

速度単位の設定

温度単位の設定

時計モード画面
(セットアップ完了)



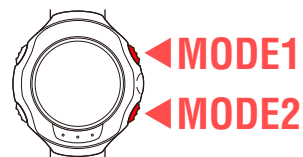
温度単位設定

温度単位の設定

MODE1 ボタンまたは MODE2 ボタンを押すごとに、温度単位の表示が「°C」(摂氏)または「°F」(華氏)に切替りますので任意の表示を選択します。

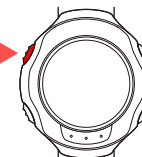
選択後は、MENU ボタンを2回押して、時計モード画面に戻ります。

°C ↔ °F



設定完了
時計モード画面へ

MENU ▶



(2度押し)



CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

リストウォッチのセットアップ

セットアップの準備

リスタート操作

時刻表示の設定

時の設定

分の設定

日付表示の設定

年の設定

月の設定

日の設定

タイヤ設定

速度単位の設定

温度単位の設定

時計モード画面
(セットアップ完了)



時計モード画面

以上でリストウォッチのセットアップは完了です。

自転車にブラケット・スピードセンサーを取付けていない場合は、目次に戻りブラケット・スピードセンサーの取付けムービーをクリックし、説明に従って取付け作業を行ってください。

その後、心拍センサーの装着ムービーも合わせてご確認ください。

ボタン操作

海拔高度の補正は次のボタン操作で行ないます。
操作を始める前にボタン位置をご確認ください。



リストウォッチ側面に **MENU** ボタン、**SSS** ボタン、**MODE1** ボタン、**MODE2** ボタンがあります。



CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

海拔高度の補正

補正方法の選択

海拔高度の入力

海拔高度の適用

本器は気圧と温度変化により高度換算するため、刻々と変化する気圧・温度によって実際の海拔高度とは誤差が生じます。
計測を開始する前に海拔高度を補正してください。

1. 時計モード画面、またはスポーツモード画面にして海拔高度を表示します。
時計モードの場合、MODE1 ボタンを押して画面上段に海拔高度を表示します。
スポーツモードの場合、MODE1 ボタンを数回押して画面上段に海拔高度を表示します。
2. MODE1 ボタンを長押しすると海拔高度補正の設定に切替わります。

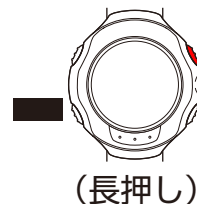


時計モード画面
(海拔高度表示)

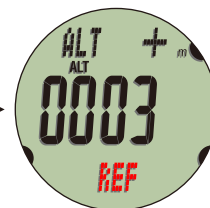
または



スポーツモード画面
(海拔高度表示)



MODE1



海拔高度補正



CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

海拔高度の補正

補正方法の選択

海拔高度の入力

海拔高度の適用

本器の海拔高度補正には、次の2つの補正方法があります。

- **REF (海拔高度補正)**

現地点の高度を入力します。

海岸や三角点標識など海拔高度が明確な場所で実際の値を入力します。

※ REF を選択後、MODE1 ボタンと SSS ボタン、または MODE2 ボタンと SSS ボタンを同時に長押しすると初期値 (ISO2533 の値) に戻ります。



- **HOME (ホーム標高設定)**

特定の海拔高度をあらかじめ設定しておきます。

たとえば自宅の海拔高度を入力することで、自宅出発前に HOME を選択するだけで正しい海拔高度でスタートできます。

※ 自宅の海拔高度は Google Earth などの地図ソフトで調べることができます。



*Google Earth は Google Inc. の登録商標です。



CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

海拔高度の補正

補正方法の選択 (1/2)

海拔高度の入力

海拔高度の適用

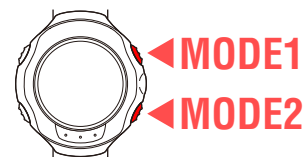


補正方法

補正方法の選択

MODE1 ボタンまたは MODE2 ボタンを押すごとに、「REF」または「HOME」に切替りますので任意の補正方法を選択します。

REF ↔ HOME





CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

海拔高度の補正

補正方法の選択 (2/2)

海拔高度の入力

海拔高度の適用

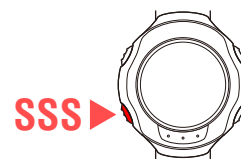


補正方法

補正方法の選択

選択後は、**SSS** ボタン押して、次ステップ「海拔高度の入力」へ進みます。

次ステップへ





CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

海拔高度の補正

補正方法の選択

海拔高度の入力 (1/2)

海拔高度の適用



正負選択

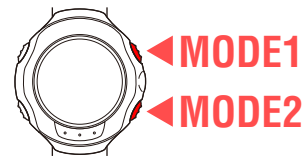
海拔高度の入力

MODE1 ボタンまたは MODE2 ボタンを押すごとに「+」または「-」に切替りますので設定する数値の正負を選択します。

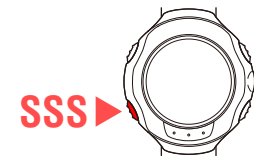
※「-」は海拔高度が 0 m 以下の場合に選択します。

選択後は、SSS ボタンを押して、次ステップ「海拔高度の入力 (2/2)」へ進みます。

+ ↔ -



次ステップへ





CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

海拔高度の補正

補正方法の選択

海拔高度の入力 (2/2)

海拔高度の適用



海拔高度

海拔高度の入力

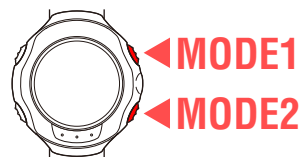
現在地の海拔高度を入力します。

※ 計測単位が「m」の場合は4桁、「ft」の場合は5桁の数値を入力できます。

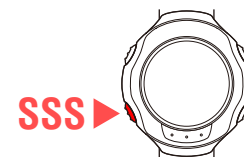
MODE1 ボタンを押すと点滅する数値が増加し、MODE2 ボタンを押すと減少します。

SSS ボタンを押すと桁を移動できます。

数値増減



桁移動





CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

海拔高度の補正

補正方法の選択

海拔高度の入力

海拔高度の適用

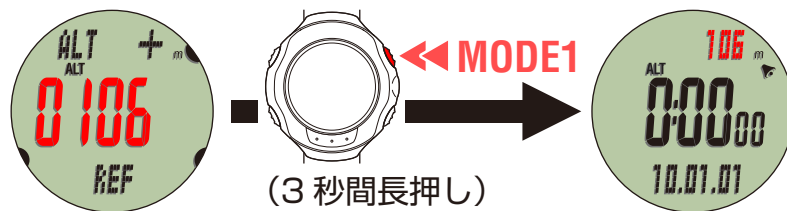


海拔高度補正

海拔高度の適用

設定したい数値を表示できたら、MODE1 ボタンを 3 秒間長押しして、元の画面（時計モード画面、またはスポーツモード画面）に戻します。

画面の海拔高度には設定した標高値が適用され、海拔高度の補正は完了です。



海拔高度補正

時計モード画面の場合



CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

海拔高度の補正

補正方法の選択 (2/2)

ホーム標高の入力

ホーム標高の適用

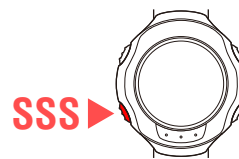


補正方法

補正方法の選択

ホーム標高値を新たに設定する場合は、**SSS** ボタンを押して、次ステップ「ホーム標高の入力」へ進みます。

次ステップへ



すでにホーム標高値を設定している場合は、「ホーム標高の適用」へ進みます。



CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

海拔高度の補正

補正方法の選択

ホーム標高の入力 (1/2)

ホーム標高の適用



正負選択

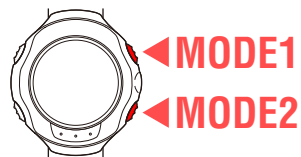
ホーム標高の入力

MODE1 ボタンまたは MODE2 ボタンを押すごとに「+」または「-」に切替りますので設定する数値の正負を選択します。

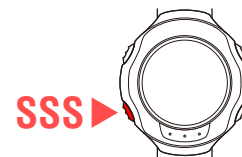
※「-」は海拔高度が 0 m 以下の場合に選択します。

選択後は、SSS ボタンを押して、次ステップ「ホーム標高の入力 2/2」へ進みます。

+ ↔ -



次ステップへ





CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

海拔高度の補正

補正方法の選択

ホーム標高の入力 (2/2)

ホーム標高の適用



ホーム標高

ホーム標高の入力

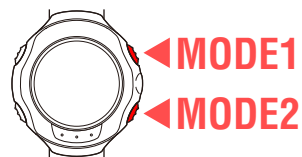
自宅など、ホーム標高値として設定する海拔高度を入力します。

※ 計測単位が「m」の場合は4桁、「ft」の場合は5桁の数値を入力できます。

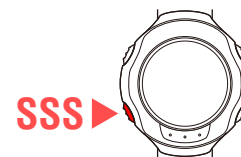
MODE1 ボタンを押すと点滅する数値が増加し、MODE2 ボタンを押すと減少します。

SSS ボタンを押すと桁を移動できます。

数値増減



桁移動





CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

海拔高度の補正

補正方法の選択

ホーム標高の入力

ホーム標高の適用



ホーム標高

ホーム標高の適用

設定したい数値を表示できたら、MODE1 ボタンを 3 秒間長押しして、元の画面（時計モード画面、またはスポーツモード画面）に戻します。

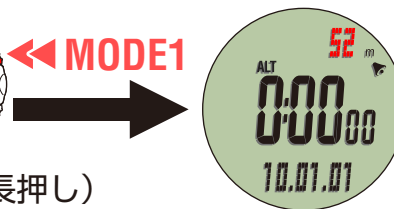
画面の海拔高度には設定した標高値が適用され、海拔高度の補正は完了です。



海拔高度補正



(3 秒間長押し)



時計モード画面の場合



CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

海拔高度の補正

補正方法の選択

ホーム標高の入力

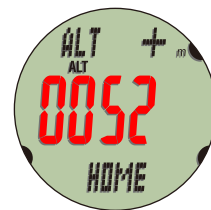
ホーム標高の適用



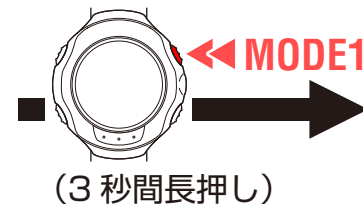
ホーム標高

ホーム標高の適用

MODE1 ボタンを 3 秒間長押しして、元の画面（時計モード画面、またはスポーツモード画面）に戻します。画面の海拔高度には設定した標高値が適用され、海拔高度の補正は完了です。



海拔高度補正



時計モード画面の場合



CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

ブラケットの取付け方法

ブラケットの取付け方法 [Qシリーズ専用ブラケット]

画面をクリックすると再生が始まります。

※ Q シリーズは、自転車に装着せずに腕に付けた状態でも計測できます。



CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

スピードセンサーの取付け方法

スピードセンサーの取付け方法 [2.4 GHz デジタルスピード/ケイデンスセンサー]

画面をクリックすると再生が始まります。



CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

心拍センサーの装着方法

心拍センサーの装着方法 [2.4 GHz デジタル心拍センサー]

画面をクリックすると再生が始まります。



CATEYE Q3/Q3a Quick Start Manual

リストウォッチのセットアップ

タイヤ周長ガイド

ETRTO	タイヤサイズ	L (mm)
47-203	12x1.75	935
54-203	12x1.95	940
40-254	14x1.50	1020
47-254	14x1.75	1055
40-305	16x1.50	1185
47-305	16x1.75	1195
54-305	16x2.00	1245
28-349	16x1-1/8	1290
37-349	16x1-3/8	1300
32-369	17x1-1/4 (369)	1340
40-355	18x1.50	1340
47-355	18x1.75	1350
32-406	20x1.25	1450
35-406	20x1.35	1460

ETRTO	タイヤサイズ	L (mm)
40-406	20x1.50	1490
47-406	20x1.75	1515
50-406	20x1.95	1565
28-451	20x1-1/8	1545
37-451	20x1-3/8	1615
37-501	22x1-3/8	1770
40-501	22x1-1/2	1785
47-507	24x1.75	1890
50-507	24x2.00	1925
54-507	24x2.125	1965
25-520	24x1 (520)	1753
	24x3/4 Tubular	1785
28-540	24x1-1/8	1795
32-540	24x1-1/4	1905

ETRTO	タイヤサイズ	L (mm)
25-559	26x1 (559)	1913
32-559	26x1.25	1950
37-559	26x1.40	2005
40-559	26x1.50	2010
47-559	26x1.75	2023
50-559	26x1.95	2050
54-559	26x2.10	2068
57-559	26x2.125	2070
58-559	26x2.35	2083
75-559	26x3.00	2170
28-590	26x1-1/8	1970
37-590	26x1-3/8	2068
37-584	26x1-1/2	2100
	650C Tubular 26x7/8	1920

ETRTO	タイヤサイズ	L (mm)
20-571	650x20C	1938
23-571	650x23C	1944
25-571	650x25C 26x1 (571)	1952
40-590	650x38A	2125
40-584	650x38B	2105
25-630	27x1 (630)	2145
28-630	27x1-1/8	2155
32-630	27x1-1/4	2161
37-630	27x1-3/8	2169
18-622	700x18C	2070
19-622	700x19C	2080
20-622	700x20C	2086
23-622	700x23C	2096
25-622	700x25C	2105

ETRTO	タイヤサイズ	L (mm)
28-622	700x28C	2136
30-622	700x30C	2146
32-622	700x32C	2155
	700C Tubular	2130
35-622	700x35C	2168
38-622	700x38C	2180
40-622	700x40C	2200
42-622	700x42C	2224
44-622	700x44C	2235
45-622	700x45C	2242
47-622	700x47C	2268
54-622	29x2.1	2288
60-622	29x2.3	2326

自転車のタイヤ周長 (L) を実測して求める場合

タイヤの空気圧を適正にし、荷重をかけた状態で、バルブなどの目印になるものを基準にしてタイヤを1回転させ、路面の寸法を測ります。

